

只見町固定資産評価審査委員

舟木氏と本名氏を任命

同委員の辞令交付式が役場で行われ、舟木和一さん（小林）と本名保美さん（黒谷）に菅家町長から辞令書が交付されました。両名は再任となり、任期は平成31年4月1日から令和4年3月31日までの3年間となります。

固定資産評価審査委員により構成される同委員会は、納税者の評価に対する信頼を確保する趣旨から各市町村に設置されており、委員の定数は3人以上とされています。本町では、今年度も現任の渡部茂さん（只見）を加えた3人体制で活動していくこととなります。



▲再任となった舟木さん(中央)と本名さん(左)

外国人労働者の受入が背景に

只見町多文化共生推進協議会

5月31日、初開催となる「只見町多文化共生推進協議会」が朝日振興センターで開催され、関係者が出席しました。

同協議会は、町内企業で働く外国人労働者が増加傾向にある現状を受け、受入体制の整備などを目的に設置されました。委員には、外国人を雇用している企業や警察・消防、県の機関も含まれており、各団体が連携し、互いに住みよいまちづくりを推進することが求められます。

第一回目となる今回は、同協議会設置の経緯や現在の状況、今後の事業内容などを中心に議論が行われました。



▲様々な団体が委員となりスタートした同協議会

南会津郡身体障がい者福祉会

町内で歩行訓練を実施

6月7日、郡内の身体障がい者を対象とした歩行訓練が只見町で行われ、郡内から30人（只見からは12人）が参加しました。この活動は、機能回復や社会参加の推進などを目的とするスポーツ振興事業として、南会津郡身体障がい者福祉会が例年実施しています。参加者は、歳時記念館をスタートし、田子倉ダム周辺を歩きながら美しい景色を楽しみました。同福祉会は、郡内各地で定期的な交流活動を行っています。会員数の減少が課題となっており、会員の募集を実施しています。



▲各自のペースで田子倉ダム周辺を歩いた

JR只見線の利活用に

只見町観光まちづくり協会が寄付

6月10日、（一社）只見町観光まちづくり協会の目黒長一郎会長が来庁され、JR只見線の利活用のために使ってほしいと7万9100円を町に寄付されました。同協会が販売しているオリジナル商品（主に只見線グッズ）の売上の一部は、例年、只見線のために寄付されることとなっています。（昨年度の寄付金額は6万7343円）

寄付金は、2021年度に予定されている只見線全線運行再開に向け、今後、町の関連施策などに活用されていくこととなります。



▲菅家町長に寄付金を手渡す目黒会長(右)

県食生活改善推進連絡協議会 横山郁子さんに会長表彰を授与

6月13日、福島県食生活改善推進連絡協議会の総会が玉川文化体育館（玉川村）で開催され、本町をはじめ、県内各地から関係者が出席しました。総会では、今年度の予算や事業の内容などについて活発な議論が行われ、事業計画が全て承認されました。

また、只見町食生活改善推進委員会前会長である横山郁子さん（黒谷）の、町や郡での推進員会長、さらには県協議会理事としての活動実績を称え、同協議会会長表彰が授与されました。



▲表彰を受けた横山郁子さん(右)

平和、命の大切さを学ぶ 「地球のステージ」を開催

6月18日、平和や命の大切さを伝える講演「地球のステージ」が只見中学校で開催され、町内の小中学生などが参加しました。本町の小中学校はユネスコスクールに加盟しており、この講演は町教育委員会がユネスコスクール全体勉強会として開催したものです。

当日は、世界中で講演活動を行う桑山紀彦氏が、自らが出会った、紛争、災害、貧困などの中で力強く生きる子どもたちの姿を音楽や映像に合わせで紹介しました。参加した小中学生は、改めて平和や生きる意味について考えを深めました。



▲音楽と映像を通して、平和や命の大切さが伝えられた

令和元年春の叙勲 齋藤修二さんが瑞宝双光章を受章

6月24日、前只見町教育長の齋藤修二さん（亀岡）が役場を訪れ、令和元年春の叙勲で瑞宝双光章を受章したことを菅家町長に報告しました。

同章は、公共的な職務（教育分野）において多大な貢献をされた方が対象となるものであり、齋藤さんは、5月末に国立劇場で開催された伝達式への参加や皇居で天皇陛下への拝謁を行った旨なども併せて報告されました。

この報告を受け、菅家町長や役場職員からは祝福の聲が上ががり、多くの人からその功績が称えられました。



▲勲記などを持ち、報告に訪れた齋藤さん(右)

町外の先進地を視察 人材育成ダイヤモンドプラン町外研修

6月24日、地域の各分野で活躍する人材を育てる「人材育成ダイヤモンドプラン」10期生の町外研修が行われ、受講生が黒磯駅前周辺を視察しました。同エリアでは、販売や飲食、宿泊機能を持った店舗「Chus（チャウス）」オーナーの宮本さんらを中心となり、近隣店舗と協力して地域を盛り上げる取り組みなどを実施しています。

受講生には事業者の方が多く、この視察を通じ、自分たちの取り組みが町の活性化につながると、改めて気付く機会が生まれ、有意義な研修となりました。



▲研修に参加した皆さん(一番左が「Chus」オーナーの宮本さん)